

Index

- P2: 全国本部協力会 平成30年度通常総会／創立50周年記念式典
- P3: NGPからのお知らせ
- P4: TECHNICAL INFORMATION「自動運転最新技術の紹介」
- P6: トヨタ 新型クラウン(ARS220、AZSH2#、GWS224系)のフロントフェンダエプロンの修理について
- P8: 平成31年度JARIC研修会



JA自動車指定工場協力会 平成30年度通常総会ならびに 創立50周年記念式典の開催

JA共済自動車指定工場協力会(愛称:JARIC)では、2月19日(火)、JA共済ビル(東京都千代田区)にて、各都道府県本部協力会会長をはじめ、関係者約100名が出席し、平成30年度通常総会を開催しました。また、通常総会後にはホテルニューオータニにて創立50周年記念式典を実施しました。

契約者の負託に応じる高品質サービス提供に努める



通常総会風景(本島会長挨拶)

総会の冒頭、主催者挨拶を行った全国本部協力会の本島直幸会長は、「企業不祥事の多い1年であった」と昨年を振り返り、「一度の不祥事が組織の存亡にかかわる。協力会においても、コンプライアンス遵守の重要性を再確認し、厳格な姿勢で取り組んでほしい」と

語りました。また、今後について、「般の自動車の急速な技術革新に加えて、改元や消費税率変更に伴う実務対応などもあり、環境変化はさらに進むと予想される」と指摘し、「このような状況下だからこそ、より緊密にJA・JA共済連と連携し、サービスや利用者満足度の向上に努めてほしい」と強調しました。

事業計画が満場一致で承認されました

続いて、議長に選出された福島県本部協力会 片野光男会長の進行のもと、『第51事業年度(平成31年4月1日～平成32年3月31日)事業計画書(案)』及び、『JA共済自動車指定工場協力会役員改選について』の2議案が審議され、満場一致で承認されたほか、佐賀県本部協力会の本島直幸会長が全国本部協力会会長職に再任されました。

カリスマ女性経営者から町工場の成功事例を学ぶ

総会の末尾、ダイヤ精機株式会社 代表取締役の諏訪貴子社長が記念講演を行いました。諏訪社長は急逝した父親の跡を継ぎ、32歳のときに専業主婦からゲージ(測定具)や金型などを設計・

製造する町工場の社長に就任。経営者として素人ながらも工場の経営改革を断行し、今や中小のモデル企業と呼ばれるまでの成長を遂げました。NHKでテレビドラマ化もされた諏訪社長の奮闘ぶりを実体験に基づく独創的な経営手法を、自動車修理工場の経営者でもある各都道府県本部協力会会長の皆さまはメモを取りながら真剣に聞き入っていました。



体験談を交えて講演する諏訪社長

50年間を振り返りながら連携強化を確認

同日の夕方には、ホテルニューオータニにおいて、「創立50周年記念式典」を開催し、節目の年を祝いました。

冒頭、本島会長は、「50周年を機に、今まで以上にJA・JA共済連と連携を図るとともに、契約者に選ばれ続けるようサービス向上に取り組みたい」と挨拶。来賓として出席したJA共済連石戸谷浩徳常務理事は、「JA共済連は、指定工場の皆さまとともに自動車・自賠責共済の普及拡大に努めると同時に、組合員・利用者へ安心と満足を提供できる高品質な自動車損害調査サービスに取り組む。引き続きご協力をお願いしたい」と語りました。

式典では、出席した各都道府県本部協力会会長の皆さまとJARIC誕生から現在までの50年間を当時の世相と併せて振り返るとともに、JARICの発展に寄与された功労者への表彰も行われました。



創立50周年記念集合写真(各都道府県本部協力会会長)

全国本部協力会役員(平成31年2月20日～)

役職	氏名	県本部
会長	本島 直幸	佐賀県
副会長	雨宮 正寛	山梨県
副会長	中嶋 忠夫	京都府
副会長	山村 宗雄	大分県
常任理事	高間 専逸	北海道
常任理事	高橋 隆宏	岩手県
常任理事	上野 徳浩	栃木県

役職	氏名	県本部
常任理事	貝谷 信雄	福井県
常任理事	藤田 尚	三重県
常任理事	山崎 堯浩	大阪府
常任理事	延近 敬弘	広島県
常任理事	山上 良人	愛媛県
会計監査	成毛 政孝	宮城県
会計監査	久保 悟	神奈川県



ここが違う！ NGPのリサイクル部品

NGPはリサイクル部品国内流通 **業界No.1** 選ばれる理由は…

1. 全品「保証付き」！

■NGP リサイクル部品の保証（抜粋）

	エンジン・ミッション	機能部品	電装部品	外装部品
保証対象		オルタネーター・ターボチャージャー・スロットルボディ・スターター・キャブレター・噴射ポンプ・パワステポンプ・ACコンプレッサー	スピードメーター・オーディオ・パワーウィンドウ・電動ドアミラー ほか	バンパー・ガラス・ドア・ボンネット・フェンダー ほか
保証内容	出荷日より6か月間または走行距離10,000kmまで* 代品交換と工賃負担 <small>*一部の大型貨物を除く</small>	出荷日より3か月間または走行距離3,000kmまで 代品交換と工賃負担	出荷日より1ヶ月間 代品交換または返品の受付	商品到着後7日間まで (商品確認期間) 代品交換または返品の受付

上記以外の部品および保証の詳細は「NGP ホームページ」をご参照ください (<http://www.ngp.gr.jp/>)

2. 全品「洗浄」「点検」「品質チェック」済み！

■厳正な品質・機能チェックを実施

NGPは「NGP商品化登録基準」に沿った厳正な品質検査・機能検査に合格した良質なリサイクル部品だけを提供しています。



NGPのすべての製品には品質を保証する「ギャランティシール」(ヘルマーク付き)が貼布されています。

3. 新品に比べ経済的！

■料金比較

事例	部品	新品部品価格	リサイクル部品価格
事例1	ボンネットの交換 トヨタ クラウン	39,000 円	13,000 円
事例2	リアバンパーの場合 日産 エルグランド	70,400 円	20,000 円

●NGPについて

NGPは使用済み自動車の適正処理及び自動車リサイクル部品の生産と販売を行う、国内唯一の経済産業大臣認可の事業協同組合です。

- NGPグループは189拠点、142社の全国ネットワーク
- NGPシステム^{※1}により常備在庫150万点のリサイクル部品を全国で共有
- ISO合同認証(ISO9001・14001・27001)を推進。NGP加盟142社中101社取得^{※2}

※1 登録したリサイクル部品を全国に公開し、部品の受発注を行うシステム ※2 2017年2月1日時点



※NGPシステムについては、各県本部協会の事務局にお問い合わせください。

自動運転最新技術の紹介 —『オートモーティブワールド2019』レポート—

オートモーティブワールド2019が1月16～18日までの3日間、有明の東京ビッグサイトにおいて開催されました。

今年で11回目を迎える同展では、自動車業界における先端テーマの最新技術が一堂に出展されます。今回も1,002社が出展し、各社が新技術や新素材などをアピールしました。あわせて、自動運転、EV・HEV技術などのセミナーも行われ来場者の関心を集めていました。



はじめに

人工知能(AI)が自動運転など次世代の車社会の可能性を大きく広げ、自動車は目覚ましいスピードで進化を遂げています。このたび開催された世界最大規模の展示会『オートモーティブワールド2019』から、最新技術のいくつかを紹介します。これらが、私たちに当たり前の日はそう遠くないかもしれません。

紹介技術－注目技術をピックアップ

● デジタル統合コックピット

複数の動作環境を同じSoC上で共存させる統合コックピットは、仮想化により確実な安全性を確保。これにより、重くて高価な配線によって接続されるハードウェアボックスの数の削減ができ、システムのコスト、サイズ、重量、消費電力の削減が実現します。



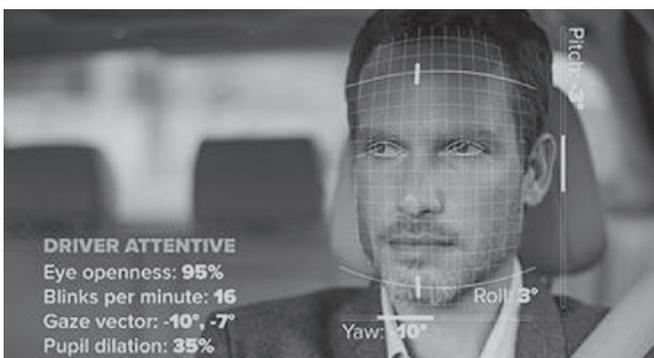
※SoC (System-on-a-chip)は、集積回路の1個のチップ上に、プロセッサコアをはじめ一般的なマイクロコントローラを持つような機能の他、応用目的の機能なども集約し、連携してシステムとして機能するよう設計されている集積回路製品です。



BlackBerry QNX Hypervisorソフトウェアスタック共有デバイス、複数のゲストOS、統合ツールチェーン

● ドライバー・モニタリング・システム

航空宇宙、自動運転技術の先駆けとして定評のあるイスラエルのAI、画像認識の技術を導入し開発したソリューション。一例をあげると、ドライバーの瞳孔の状態を認識し、居眠り、飲酒なども精密に把握して運転をストップさせることも可能です。自動運転が普及した際に自動運転、手動運転の切替時に必要なシステムでもあり、今後普及が期待されています。



ビジュアライザ (Core Show)



● 自動運転ソリューション

自動走行の実現により、交通事故、交通渋滞、ドライバー不足、交通弱者、高齢者の危険運転などの交通課題の解消が実現します。実際の自動走行のために、まず車両による実証実験が必要。必要な条件は利用者によってさまざまなため、カスタマイズ化により、最適な実証実験の自動走行車両が提供されます。実際の道路上には予測のつかない事象の発生も想定されるため、それらに対応できる情報処理やAIの処理を同時に実行できる頭脳が重要。こうして実証実験のデータの蓄積により、より完全な自動運転へのソリューション提供を測っていく仕組みです。

自動走行研究開発向け実証車両コンセプト

制御

- X-by-Wire対応
- 既存ECUに干渉
- 各ECUのFMEA担保

緊急時対応

- エマージェンシーボタンによる通常の運転モードへ移行
- アクセル、ブレーキ、ハンドルのいずれかを操作することで通常の運転モードへ移行



開発インターフェース

- デバッグ用モニター搭載
- デバッグ用イーサネットポート搭載
- 16チャンネルの電源分配システム搭載
- ショアパワー搭載

エコシステム

- マルチプラットフォーム対応：NVIDIA、NXP、Renesas
- 各種センサ対応：LiDAR、GPS、IMU、Radar、カメラ等
- ソフトウェア対応：Autoware、DriveWorks、Apollo



● オートサイドドア

自動車の電動化、自動化に伴い、小さな子どもから高齢者まで安心&快適に乗り降りできるよう、ドアの電動化も進んでいます。今回の展示会では、快適さが市場に受け入れられているパワースライドドア、パワーバックドアと同じ技術をサイドドアにも応用。ドア内に内蔵したドア電動化ユニットと、センサーによりドアの自動開閉が可能。また、人や障害物を検知した場合は作動しない等、安全性を高めることが可能となっています。



まとめ

「自動車産業は100年に1度の変革期を迎えている」とトヨタの豊田社長が発言し、自動車業界に関わる人たちの意識改革も必要になっており、常に新技術の動向を勉強しておきたいと考えます。もはや自動車とITの融合はマストとなっていますが、ユーザーの安全が第一であることは揺るぎません。

今回の「オートモーティブジャパン2019」では、自動運転EXPOに加えて、カーエレクトロニクス技術展／コネクティッド・カー EXPO / EV・HEV 駆動システム技術展／自動車部品&加工 EXPO /クルマの軽量化技術展も同時に開催されました。興味を持った技術についてはメーカーに問い合わせを深掘りしてみることもおすすめします。

トヨタ 新型クラウン (ARS220、AZSH2#、GWS224系) の フロントフェンダエプロンの修理について

はじめに

トヨタ 新型クラウン (ARS220、AZSH2#、GWS224系) のボデーは、軽量化を目的にアルミニウム製の外板および内板部品が採用されています。

外板部品では、フードとフロントフェンダにアルミニウム (6000系) を採用し、内板骨格部品では、フロントフェンダエプロンのサスペンションタワー部 (写真1の青丸部) にアルミニウム (ダイキャスト材) を採用しています。

フロントサイドメンバは高張力鋼板 (780MPa) 製で、フロントフェンダエプロンのサスペンションタワー部はアルミニウム製の

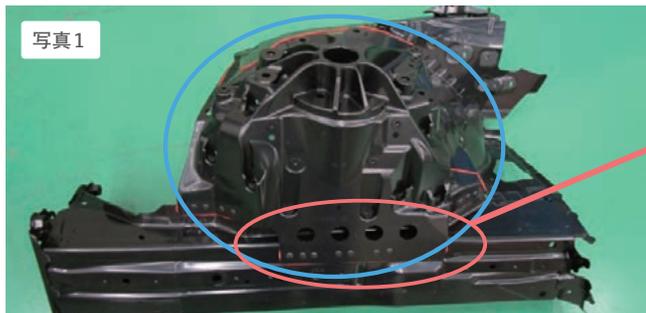
ため、溶接が行えずSPR (Self Pierce Rivet) で接合されています。

補修用の部品は、フロントサイドメンバ単体やフロントフェンダエプロン単体の補給がなく、フロントサイドメンバとフロントフェンダエプロンが一体となったASSYでの補給のみになります (部品名称: フロントフェンダエプロンASSY)。

このフロントフェンダエプロンASSYは修理時に注意点等がありますので紹介します。

フロントフェンダエプロンASSYについて

(1) 構造 (補給状態)

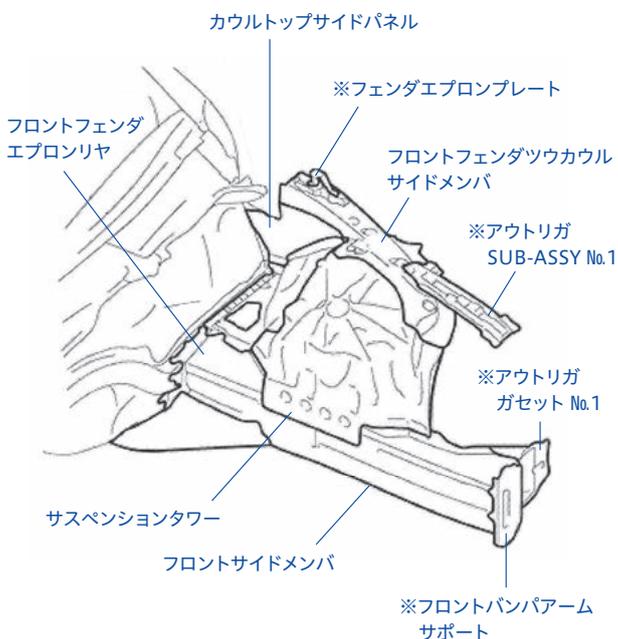


SPR
(Self Pierce Rivet):
43箇所



(2) フロントフェンダエプロンASSYの構成部品

※の部品は単品での部品補給があります。



(3) フロントフェンダエプロンASSYの修理について

① 注意事項

- ・SPR接合部の修理 (取外し・取付け) は行わない。
- ・アルミダイキャスト部の修理は行わない。
- ・フロントサイドメンバ (780MPa) の半裁 (カット) 修理は行わない。

② 修理方法について

主なパネル	SPR締結	単品取替	鋼板修正について
フェンダエプロンプレート	無し	可	通常通り
アウトリガSUB-ASSY No.1			
アウトリガガセット No.1			
フロントバンパアームサポート	有り	不可	A
カウルトップサイドパネル			
フロントフェンダツウカウルサイドパネル			
フロントフェンダエプロンリヤ			
フロントサイドメンバ			
サスペンションタワー			A B 修正不可

A 軽微な損傷 (端部のフランジの変形や軽微なゆがみなど) は修正可能

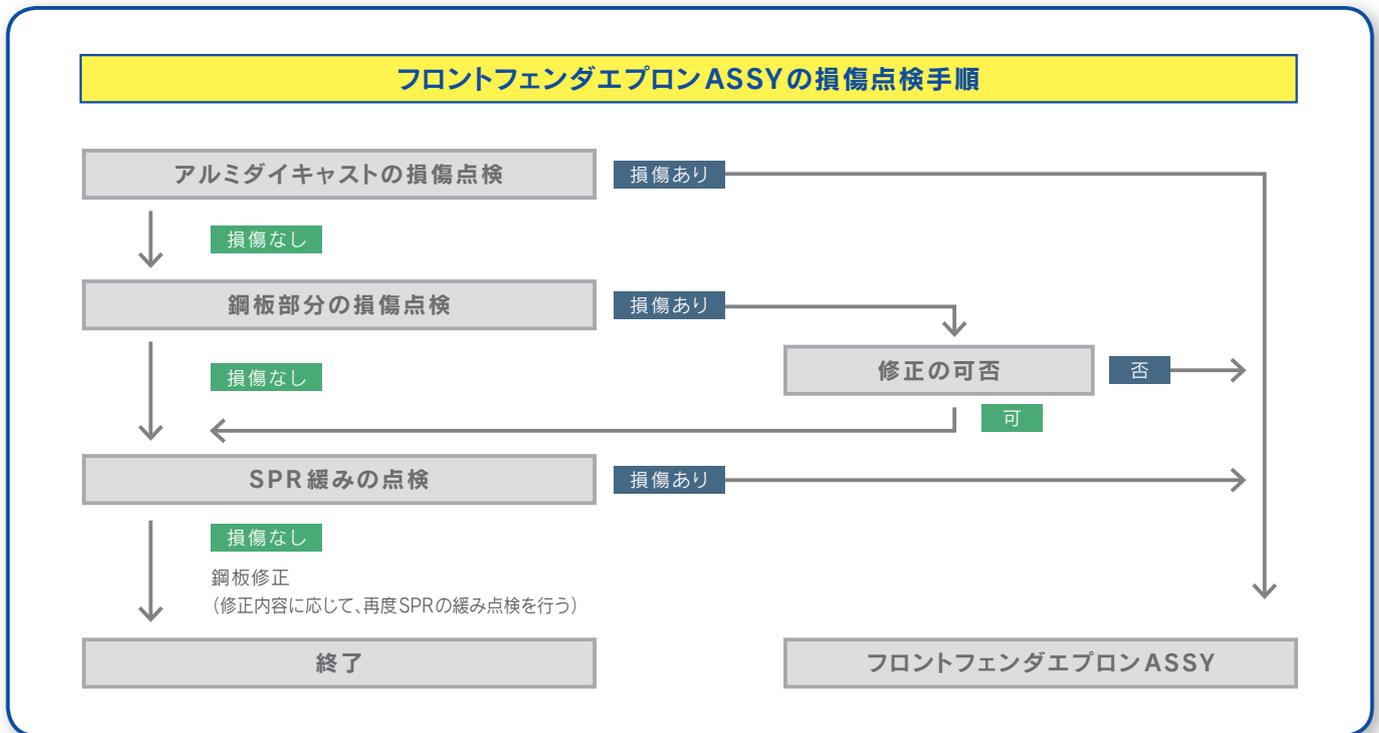
B フレーム修正機を使用した場合は、必ずSPRの緩み点検を行って下さい。
(SPRが緩む場合があります。)

剛性が高いため、大きな損傷 (折れや明確な曲り) は修正できません。

(4) フロントフェンダエプロン ASSY の取替要否

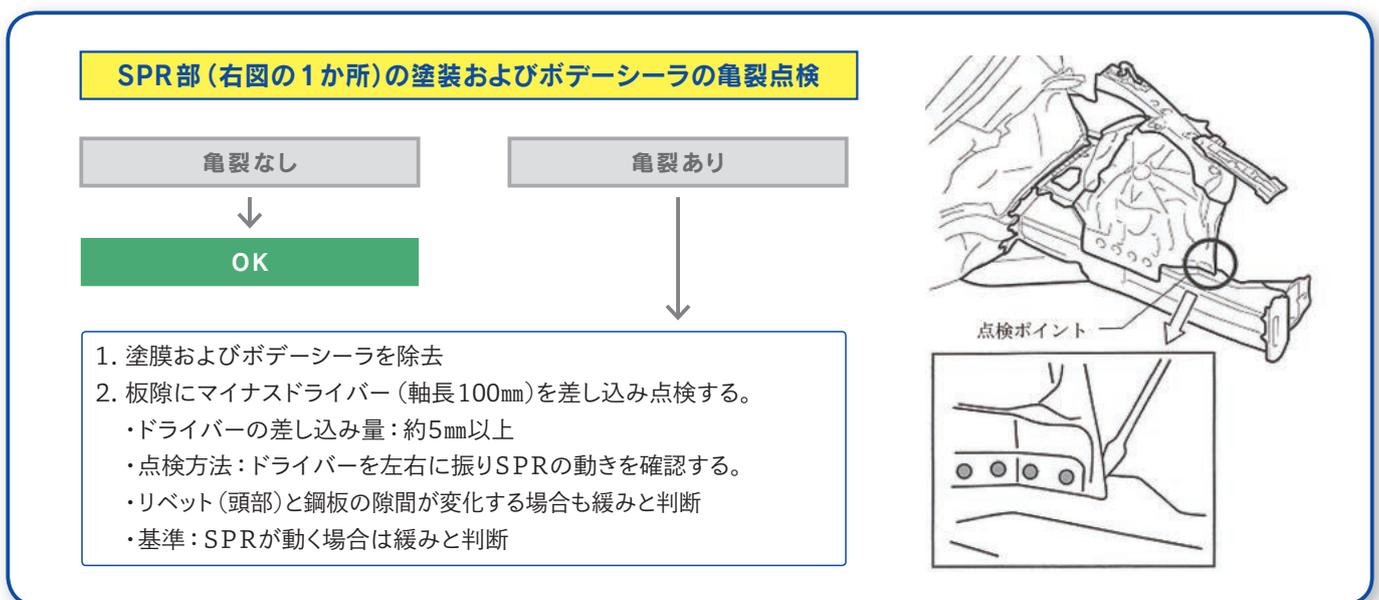
SPR締結部に衝撃を受けた可能性がある場合は、下記の手順でSPRの緩み点検を行います。

(注意) SPRが抜けている場合および抜けかけている場合は、フロントフェンダエプロン ASSY の取替が必要になります。



(5) SPR 緩み点検要領

SPR締結部位は塗装およびボデーシーラで覆われています。



まとめ

今後、アルミニウムを使用した外板および内板部品の採用車種が増えることが予想されるため、修理する際は、材料の特性を理解したうえで自動車メーカー発行の修理書を参考に正しい作業を行い安全性と品質の向上に努めましょう。

平成31年度JARIC研修会（開催場所：幕張研修センター等）

区分	研修会名	目的	対象者	定員	開催期日
フロントマン	フロントマン見積・接客研修会（ベーシックコース）	見積技法および接客力の向上を図るため。	見積の基礎知識（ボデー構造、修理技法、損傷診断、見積技法）と基本的な接客技術を習得したい方	25	31.9.30(月)～10.3(木)
	フロントマン見積・接客研修会（レベルアップコース）		フロントマン見積研修会（ベーシックコース）を受講した方、または基本的な見積技術をすでに習得している方で、見積精度ならびに接客技術の向上を図りたい方	25	31.12.2(月)～12.5(木)
板金スタッフ	板金研修会（外板修正コース）	板金技法等の資質向上を図るため	外板修正の基礎知識（鋼板の性質、加工、板金工具等）および板金作業の技術・技能を習得したい方	8	31.6.4(火)～6.6(木)
	板金研修会（溶接パネル取替コース）			8	31.12.2(月)～12.4(水)
				8	32.1.15(水)～1.17(金)
	板金研修会（内板・骨格修正コース）		8	31.7.2(火)～7.4(木)	
			8	32.1.8(水)～1.10(金)	
	塗装スタッフ		塗装研修会（ベーシックコースI）	塗装技法等の資質向上を図るため	補修塗装の基礎知識（使用材料、使用機材等）および補修塗装作業の基礎的な技術・技能（パテ付け・研ぎ、マスキング、ソリッド塗装を中心とした上塗り等）を習得したい方
塗装研修会（ベーシックコースII）		8	31.7.17(水)～7.19(金)		
		8	31.12.10(火)～12.12(木)		
塗装研修会（水性コース）	水性塗装に関する基礎知識を習得したい方	8	31.10.16(水)～10.18(金)		
整備スタッフ	メカニカル研修会（ハイブリッドカーコース）	整備技法等の資質向上を図るため	ハイブリッドカーの基礎知識（低圧電気取扱、各構成部品の構造・作動）を理解し、ハイブリッドカー特有の整備技術を習得したい方	20	31.7.2(火)～7.4(木)
	20			32.1.21(火)～1.23(木)	
	メカニカル研修会（総合診断技術コース）		10	31.6.18(火)～6.20(木)	
			10	31.7.23(火)～7.25(木)	
			10	31.12.10(火)～12.12(木)	
レッカー・ロード	レッカーサービス・ロードサービス接客技術研修会	レッカー・ロードサービスにおける、接客力・技術の向上を図るため	レッカーサービス、ロードサービスに従事している方、あるいは近い将来従事する予定の方で、接客技術・積載（搬送）作業技術を習得したい方	30	31.10.4(金)
フロントマン	第44回全国フロントマン選抜技術競技会	フロントマンの技術向上を図り、農家組合員の期待に応えるため	県本部協会の主催によるフロントマン技術競技会に参加し優秀な成績を収め、県本部協会が推薦した指定工場のフロントマン	30	31.11.8(金)～11.9(土)

※申込者が定員を超過する場合は、抽選により参加者を決定します。

※4～6月開催の研修会は、申込みが終了しています。なお、追加募集を行っている場合がありますので、各都道府県本部事務局へお問い合わせください。